

薄暮時間帯における死亡事故の分析 【福岡県】

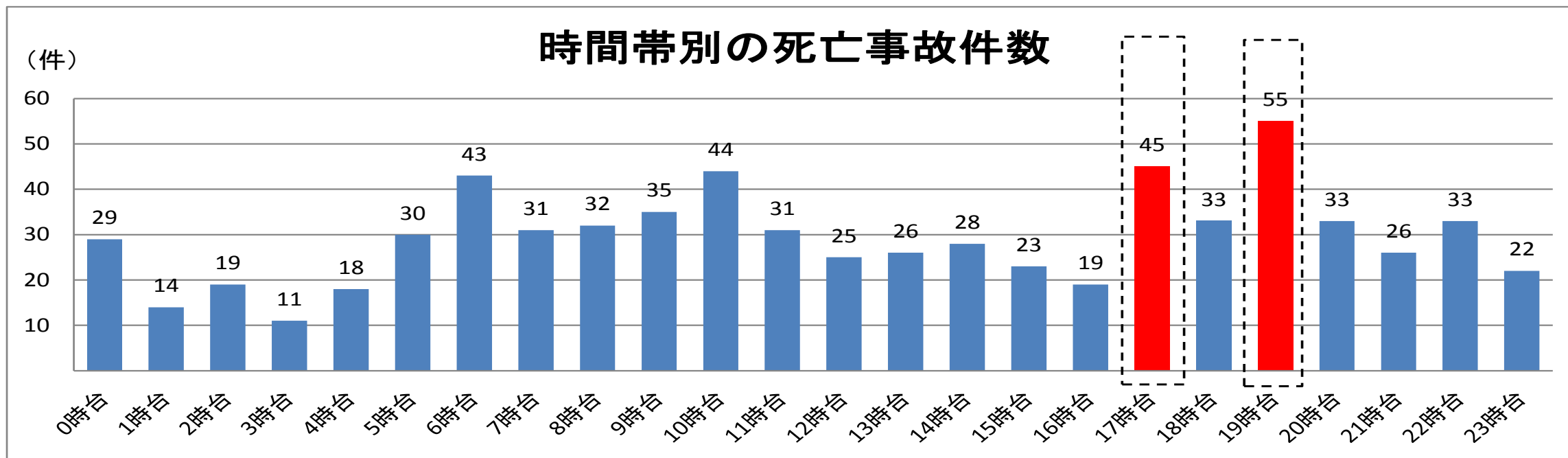
注1 本資料は、平成25年から平成29年までの5年間の交通事故データにより作成した。

2 数値は、単位未満で四捨五入しているため、合計等が内訳の数値と一致しない場合がある。

1-1 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析 ～時間帯別の死亡事故件数～

- 時間帯別では、19時台が最も多く、次いで17時台が多い。

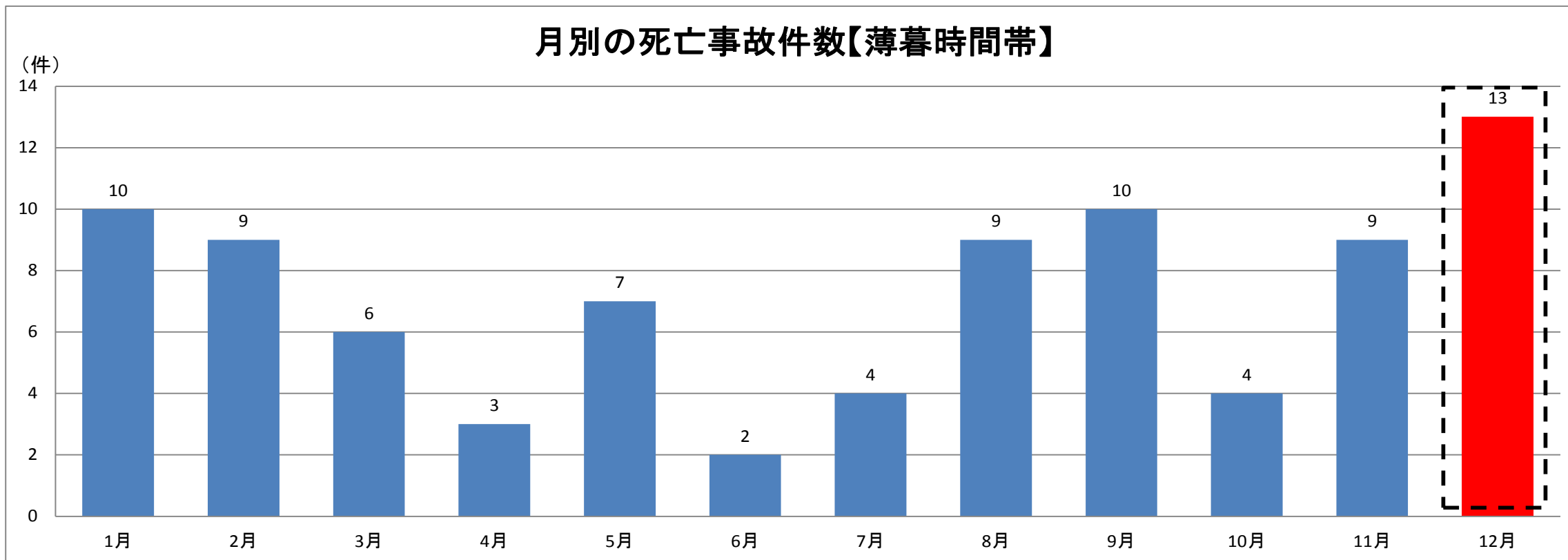
図 時間帯別の死亡事故件数(平成25年～平成29年)



1-2 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析 ～薄暮時間帯の月別の死亡事故件数～

- 月別では、12月に最も多く発生

図 月別の死亡事故件数(平成25年～平成29年)

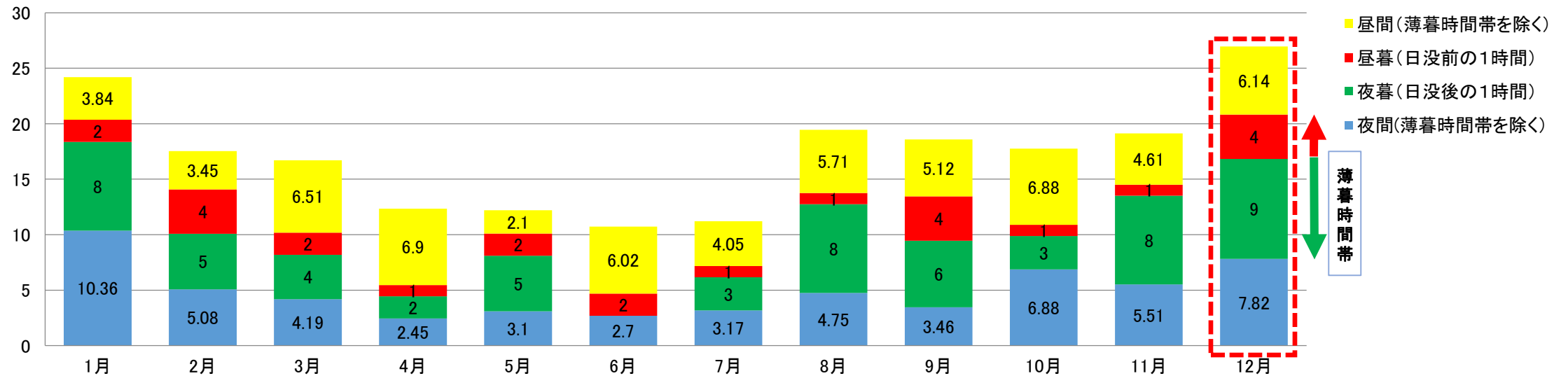


注 「薄暮時間帯」とは、日没時刻の前後1時間をいう(日没時刻は、各日の福岡県の福岡市の国立天文台天文情報センター暦計算室の計算による日の入り時刻による。)

1-3 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析 ～月別・時間帯別の時間当たり死亡事故件数

● 日没後1時間の時間当たり死亡事故件数は、12月が最も多い。

図 月別・時間帯の時間当たり死亡事故件数(平成25年～平成29年)



注1 算出に用いた昼間・夜間の時間は、平成28年各月15日の時間による。
 2 「昼間」とは、日の出から日没までを、「夜間」とは、日没から日の出までをいう。

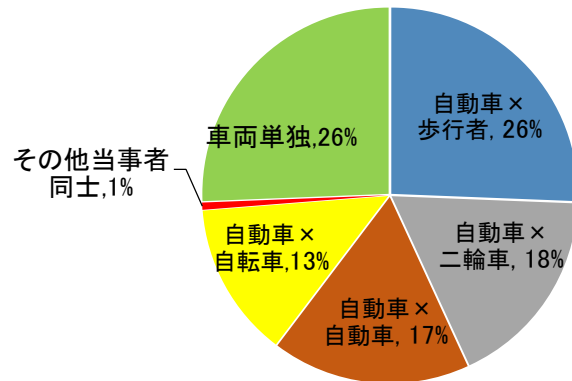
1-4 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析

～死亡事故の昼夜間・薄暮時間帯の当事者別の割合（昼夜間・薄暮時間帯）～

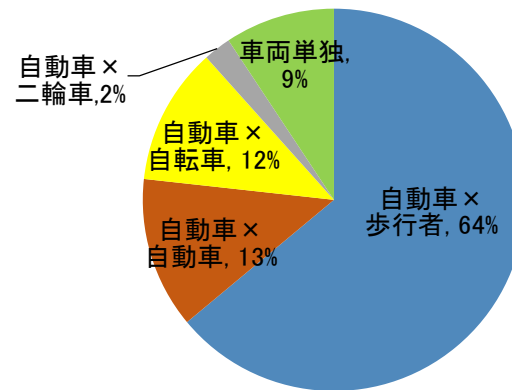
- 薄暮時間帯は、昼間と比べて「自動車×歩行者」による事故の割合が高い。

図 昼夜間・薄暮時間帯別の時間当たりの当事者別死亡事故件数の割合（平成25年～平成29年）

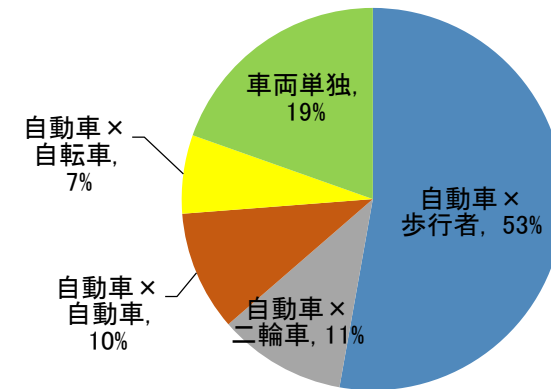
昼間（薄暮時間帯を除く）



薄暮時間帯



夜間（薄暮時間帯を除く）

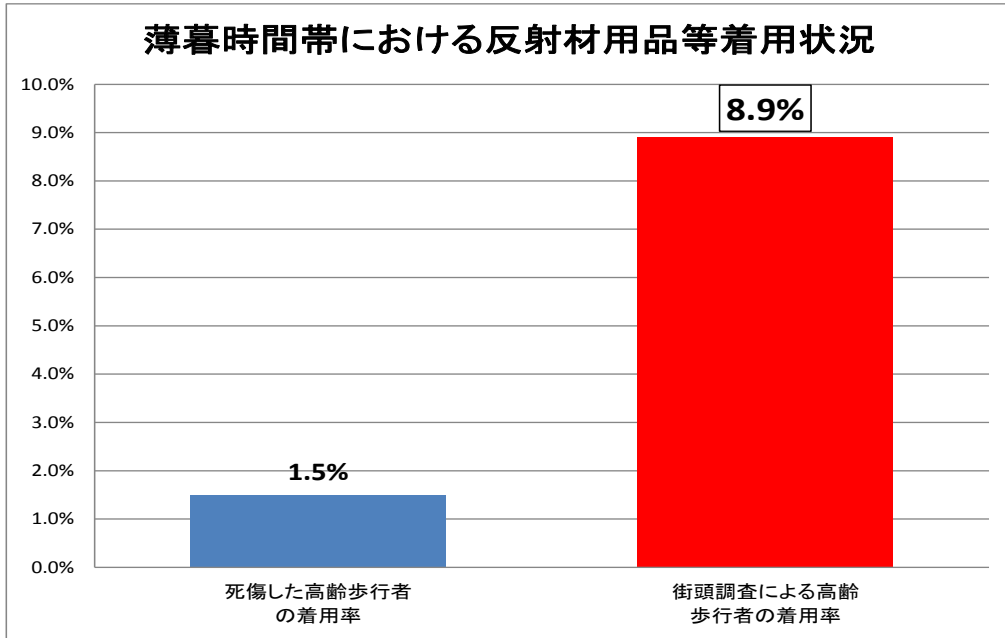


注1 件数は過去5年間（平成25年～平成29年）の累計であり、昼間・夜間は11時間、薄暮時間帯は2時間として算出
2 「その他の当事者同士」とは、二輪車×二輪車、自転車×自転車等の死亡事故をいう。

1-5 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析 ～歩行者の反射材用品等着用状況（薄暮時間帯）～

● 薄暮時間帯に死傷した高齢歩行者の着用率が1.5%に対し、街頭調査による高齢歩行者の着用率は8.9%

図 薄暮時間帯における反射材用品等の着用状況



(参考) 死傷した高齢歩行者の着用状況及び街頭調査による高齢歩行者の着用状況

	死傷した高齢歩行者の着用状況	街頭調査による高齢歩行者の着用状況
着用	6	9
非着用	397	92
着用率	1.5%	8.9%

(参考) 死傷した高齢歩行者の着用状況及び街頭調査による高齢歩行者の着用状況

- シール 1人
- リストバンド 6人
- タスキ 1人
- ライト 1人

注1 「死傷した高齢歩行者の着用率」は、過去5年間(平成25年～平成29年)の各年下半期の薄暮時間帯における自動車対歩行者事故の65歳以上の高齢歩行者(第1・第2当事者)の反射材用品等の着用率。調査不能は除外した。

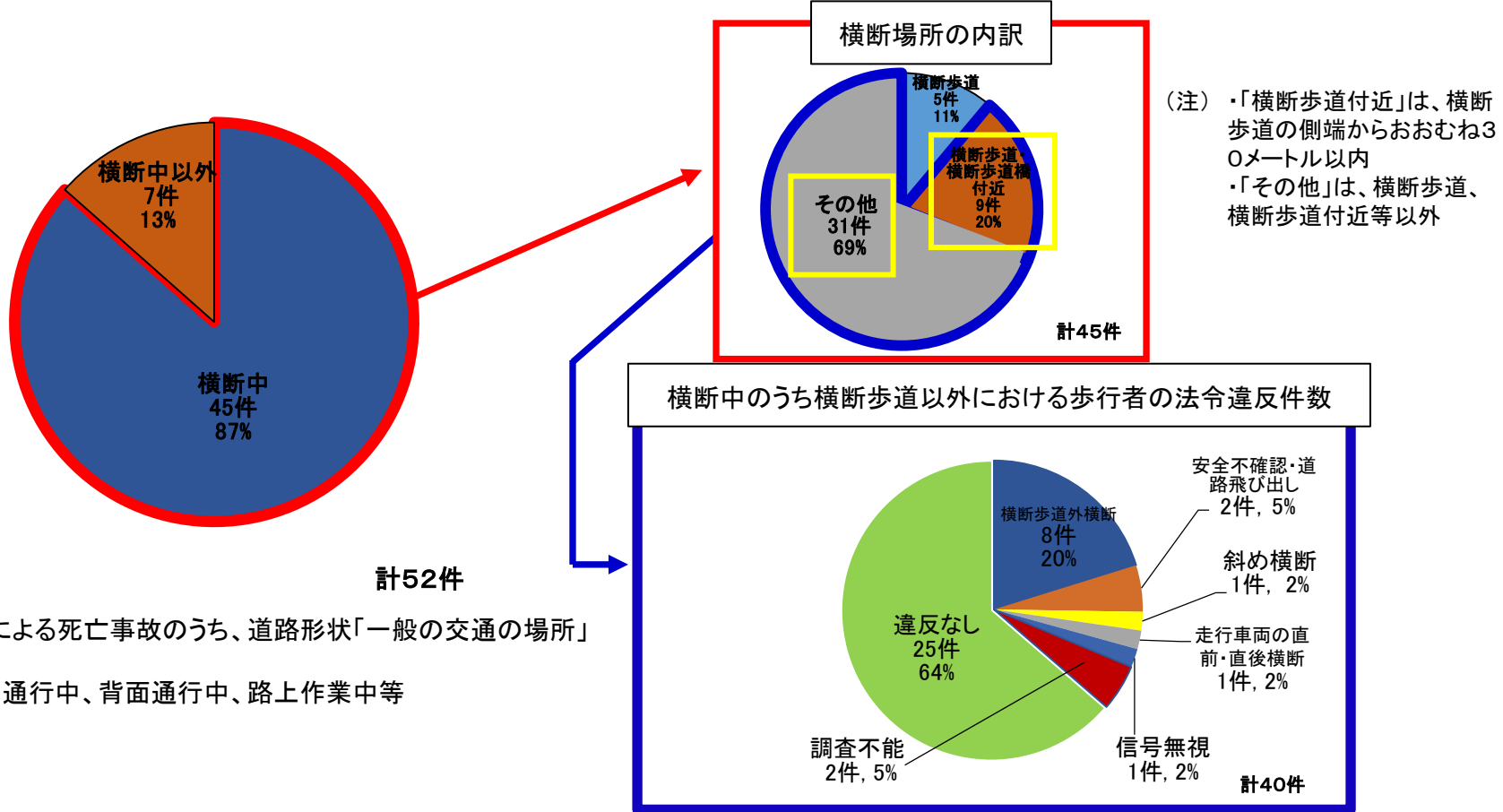
注2 「街頭調査による高齢歩行者の着用率」は、本年7月11日～30日までの期間に、薄暮時間帯において、高齢歩行者101人を対象に街頭における反射材用品等の着用状況の調査を実施した結果

1-6 薄暮時間帯における死亡事故に係る分析

～「自動車対歩行者」による事故の事故類型別の死亡事故件数（薄暮時間帯）～

- 事故類型別では、横断中が約9割を占めている(全国でも横断中が約9割を占めている。)
- 横断場所の内訳では、横断歩道以外の場所での発生が約9割で、横断歩道以外の横断における歩行者の約4割に法令違反あり(全国では横断歩道以外の発生が約8割で、横断歩道以外の横断における歩行者の約7割に法令違反あり。)

薄暮時間帯における「車両対歩行者」の事故類型別死亡事故件数（平成25年－平成29年）



注1 「自動車対歩行者」による死亡事故のうち、道路形状「一般の交通の場所」を除いた件数

2 横断中以外は、対面通行中、背面通行中、路上作業中等

薄暮時間帯における死亡事故に係る分析のまとめと今後の対策

【薄暮時間帯における死亡事故に係る分析のまとめ】

- ・ 時間帯別の死亡事故件数では、19時台が最も多く、次いで17時台が多い。
- ・ 日没後1時間の死亡事故件数では、12月に最も多く発生している。
- ・ 死亡事故の当事者別では、車対歩行者が6割以上
- ・ 死傷した高齢歩行者の反射材用品等の着用率は、街頭調査による高齢歩行者全体の着用率よりも低い。
- ・ 車対歩行者事故の約9割が、横断中に発生



薄暮時間帯における死亡事故に係る分析結果により、年末、年始に死亡事故が多発する傾向にあり、歩行者対策を推進する必要がある。

【共通】

薄暮時間帯の死亡事故は、年末、年始に増加し、特に日没後に多く発生すること等を周知して安全意識の醸成を図る。

【運転者関係】

- ・ 横断歩道手前における減速義務と横断歩道における歩行者優先における歩行者優先義務を再認識させる。
- ・ 夕暮れ時の早めのライト点灯及びハイビームの活用を認識させる。

【歩行者関係】

- ・ 反射材用品等の着用促進を図るとともに、横断歩道付近では交通ルールを遵守して横断歩道を渡るよう周知する。
- ・ 歩道の整備された道路などの安全なルートを選択するよう周知する。